

令和 6 年度 京都市朱雀工房 事業報告

1. 概要

【就労移行支援事業】

利用定員は 6 名で運営をした。新規利用者は 4 名。給付費は 10,177,761 円（昨年度 18,642,771 円）。新規利用者の減少と登録利用者の体調不良による欠勤、同法人内 B 型事業への移動などにより平均利用者数が 3.8 名となり、昨年度の 6.5 名より（昨年度は利用定員 4 月から 12 月まで 10 名、1 月から 6 名）減少した。

新規利用者の獲得として、特別支援学校への広報に加え保護者の方々へ事業所の説明を行った。また、チャレンジ就労体験の受け入れや、引きこもりの方を対象とした若者サポートステーション内の就労プログラムとして、当事業所での作業訓練を継続的に実施した。

これらの取り組みで利用希望見学・実習に繋がり、その中で 2 名が令和 7 年度より新たに利用を開始する予定となった。利用希望見学の依頼は就労継続支援 B 型の希望が多かったが、見学の際に、要望があれば就労移行支援の事業説明も一緒に行うなど、利用の選択肢として持ってもらえるように対応を行った。

就職者は 2 名であった。両名とも就労してから 6 ヶ月が経ち、就労定着支援を行っている。令和 6 年度中に内定をもらった利用者がもう 2 名いたが、どちらも令和 7 年度 4 月からの雇用となった。

就労支援では、職場見学・職場実習を希望に応じて実施し、就労関係機関とも連携しながら就労・内定に繋げた。

就労支援と並行して、入院準備、受診同行、自宅の相続登記、土地相続、転居、食糧確保など生活全般の支援を各関係機関と連携して行い、利用者の生活と体調の安定に努めた。

【就労継続支援 B 型】

利用定員は 14 名で運営をした。平均利用者数は 12.9 名。給付費 27,092,858 円（前年度 19,121,711 円）。上半期に地域生活支援センター・特別支援学校から 2 名の新規利用があり、下半期に地域生活支援センター・高次脳機能障害者支援センター、当事業所の就労移行支援からの移動も含め 5 名の新規利用に繋がった。

就労支援では、職場見学・職場実習・面接練習などを行い、1 名の利用者が就労することができた。定着後の支援も行い 6 か月以上勤務できているので、就労移行支援体制加算（一人ごと 54 単位）を次年度も継続して得ることができる。下半期 3 月から平均利用者数が 16 名と安定したので、次年度の給付費の向上が見込まれる。

生活支援では社会生活力向上プログラムをゲーム形式で行うなど工夫し、体調管理に少しでも意識が向くように実施した。個別のケースでは相談支援事業所と連携し、居住環境の改善に向けて取り組んだ。

平均工賃は 15000 円であった。線香箱の組立、ローソクの梱包、パンフレット封入、お寺の施設外就労などに加え、ボーナスキャンペーンでの売り上げが夏・冬含め 1050000 円になったことで工賃向上に繋がった。

【就労定着支援】

平均登録者数は5.3名。新規利用3名。給付費1,251,052円。就労移行支援の登録者の減少に比例し就職者が少なくなり、新規利用者数に影響した。また、退職者も2名あり、就職後6ヶ月の間のサポートを充実させると同時に、就職の際に利用者の特徴を応じたマッチングをより意識し職場定着を目指す必要がある。

定着支援では職場での対人関係の不和や不安定な出勤状況などについて企業・通院先と連携し改善に努めた。加えて生活面でのサポートとしてフードバンク京都に協力を依頼し、食糧確保をサポートするなど就労・生活双方への支援を行った。

2. 達成状況

【就労移行支援事業】

就労支援

- | | |
|---|------|
| ① 所内外の作業訓練による作業アセスメントと基礎体力・持続力の会得 | 達成 |
| 8種類の作業内容による作業訓練と、野外・室内の清掃作業を実施した。 | |
| ② 就労パスポートによるプロフィールシートの作成 | 一部達成 |
| 個々に使いやすい形式に改変してプロフィールシートを使用するに至った。 | |
| ③ 複数の企業見学による職種ニーズの把握 | 達成 |
| グループでの職場見학을2社、その他個別でも各種見学を行った。 | |
| ④ 複数の職場実習による職種イメージと職業スキルの向上 | 達成 |
| 求職活動まえに、5社の企業で職場実習を実施した。 | |
| ⑤ 新規職場実習先の開拓 | 達成 |
| 1社の職場実習先を開拓した。利用者が少なく比例して開拓先も少なくなった。 | |
| ⑥ 就労プログラム、社会生活力向上プログラム（SFA）、個別SSTの実施 | 達成 |
| 月2回上記のプログラムを実施し、個別実施も行った。別紙参照。 | |
| ⑦ 就労準備プログラムの実施 | 一部達成 |
| 個々の就労段階などにより、全体として体系立った就労準備プログラムを実施するには至らなかった。 | |
| ⑧ 個別パソコン講習の実施 | 達成 |
| 事務職に興味のある利用者さんにパソコンの練習を行った。 | |
| ⑨ 定期面談による就職状況と就職ニーズの確認 | 一部達成 |
| 適宜の面談や個別支援計画の更新時に面談は行っているが、それ以外は適宜の面談となり、体系的な定期面談の機会作りには至らなかった。 | |

健康・日常生活管理

- | | |
|--|------|
| ① 施設外就労や所内での立ち作業による体力強化 | 一部達成 |
| 施設外就労、所内での立ち作業共に動機付けが足りず実施者が一部の利用者に限定的なものになった。 | |

② 健康管理・対人関係・ストレス対処のプログラムの実施	達成
社会生活力向上プログラムの中で健康管理、対人関係に伴うストレスについて取り上げ実施した。	
③ 定期面談による心身状態の把握	一部達成
個別支援計画の更新時や適宜個別面談は実施したが、全体として体系的な面談の機会を作るには至らなかった	
④ 受診医療機関との連携をさらに図る	達成
受診同行や状態に応じた早期の入院対応、不適切行動に対するアプローチなどを受診医療機関と連携をして進めた。	
⑤ ストレッチと筋力トレーニング	達成
毎日 15 分ほどのストレッチと簡単な筋力エクササイズを実施した	
⑥ アクティビティを通じた体力づくり	一部達成
作業スペースの確保や他部署の会議により、昼休みに多目的室を開放し常時アクティビティスペースとすることができなかった。レクリエーションでは卓球など体を動かす内容を取り入れた。	

利用率向上に向けた取り組み	
① 当事業所の就労支援の特徴と強みを整理する	一部達成
時間を取って整理する機会を設けることができなかった。個別で話し合った。	
② パンフレットを刷新する	達成
京都芸術大学と学福連携としてパンフレットの作成を開始。生徒さん・先生に事業所見学をして頂き、打合せを行った。※完成は令和 7 年度 4 月。	
③ 事業所紹介用の資料を再整理する	達成
利用希望見学時の説明用のパワーポイントを作成した。	
④ 利用者紹介先の関係機関に広報を行う	一部達成
ボーナスキャンペーン配達時に広報を行った。令和 7 年度に新パンフレットを持参し改めて広報を行う予定。	
⑤ 特別支援学校・引きこもり関連の事業所への広報と実習の受け入れ	達成
特別支援学校への広報を行い、当事業所の見学会を実施した。B 型アセスメント実習や令和 7 年度の新規利用に繋がった。京都若者サポートステーション内の就労プログラムとして当事業所で作業を定期的に行ってもらった。利用希望見学には繋がったが、診断名がない状態で正式利用には至っていない	

地域や関係機関との連携 ※就労継続支援 B 型・就労定着支援と共通	
① 高台寺	一部達成
継続して清掃での施設外就労を実施し、夜間ライトアップのご招待では利用者・ご家族と参加した。ねね様 400 遠忌について協賛には至らなかった	
② ウイングスマルコー	一部達成

継続してお仕事をいただいている。社長交代による部署の縮小に伴い、利用者さんをアルバイト（施設外就労）として働かせて頂く機会がなくなった。

③ 京都木材協同組合 一部達成

継続して清掃の施設外就労やパンフレットの封入作業など協力はできているが、法人全体として協働していくには至っていない。

④ 京都ノートルダム女子大学 達成

定期的な職場体験実数を大学内の各部署で行わせて頂いていた。

※大学部が令和 10 年度で閉鎖する。実習は可能な限り受け入れてもらえるご意向。

⑤ 西新道商店街 一部達成

月 1 回の会食会場清掃は実施できているが、その他のイベント事などは連携できなかった。

⑥ 関係機関 達成

中京区こころのふれあいネットワークへの参加。自立支援協議会（就労部会）の運営参加をした。

法令順守 ※就労継続支援 B 型・就労定着支援と共通

① ハラスメント、身体拘束、虐待防止、合理的配慮 達成

ヒヤリハットチェックリストを使った利用者対応の振り返りや法人全体研修により支援を振り返る機会とした。

感染症対策と防災 ※就労継続支援 B 型・就労定着支援と共通

① 感染症研修、防災訓練 達成

法人全体研修で感染症対策を学び職員間で振り返りを行った。COCO・てらすの防災訓練に参加した。法人全体訓練で緊急連絡網訓練を行い、緊急時の職員参集について振り返った。

【就労継続支援 B 型事業】

健康・日常生活管理

① 施設外就労や野外清掃による基礎体力の向上 一部達成

利用者への促しにより、新規利用者は比較的参加が増えたが、既存利用者の参加は伸び悩んだ。

② 日報記録を基にした面談により体調の把握と健康管理の意識向上 一部達成

終礼後の日報を使った体調の確認は行っているが、意識向上までは進んでいない

③ 社会生活力向上プログラムによる健康管理を学ぶ 達成

呼びかけや希望者を募り、プログラムを実施し、健康やストレスマネジメントについて考える機会をつくった。

④ 受診医療機関との連携をさらに図る 達成

体調が不安定な利用者の受診同行や医療機関との情報交換や意見聴取などを行った。

⑤ エクササイズやアクティビティを通して体を動かす機会をつくる 一部達成

昼休み後のストレッチ体操を毎日行ったが、それ以外では体を動かす機会は少なかった。

生産活動

① 下請け作業（作業量と収益性、作業内容のバランス） 一部達成

主に4社の企業から作業を受注し、繁忙期・閑散期の影響はあったが、通年を通して作業量を一定に保つことができた。課題としては、利用者が行う作業内容の固定化と、利用者が増加したことにより、作業量が今のままだと、今後の平均工賃が低下する可能性がある。

② 施設外就労（参加利用者の拡大） 一部達成

新規利用者の参加は増えたが、既存利用者の参加は伸び悩んだ。

③ ボーナスキャンペーンの売上向上 達成

売り上げは、夏 471060 円、冬 589460 円と前年度に比べ 355260 円、向上した。今回初めて協力を得た村山造酢さんのお酢と、全笑さんの七味が大好評だったことや、パンフレットの配布数を 50 部ほど増やしたことが、売上向上に繋がったと考える。

④ 出店（出店先・参加利用者の拡大） 達成

既存の区役所やぶらり嵐山の他に、今回から初めて京都市立病院の統合失調症の家族会で出店をさせていただいた。これまで出店に参加したことがない利用者にも参加してもらった。

就労支援

① 就労プログラムの実施 達成

就労移行支援の就労プログラムへの参加は行った。就職に付けて助走をつけていく段階の人を対象とした就労プログラムについては検討と準備を行い、次年度5月から実施予定である。

② 職場見学・職場実習の実施 達成

2社の職場見学と1社の職場実習を行った。

③ 外部就労機関との連携 達成

京都障害者職業相談室とジョブパークはあとふるコーナーのカウンセリングも利用し、ハローワークの求人応募により1名の利用者が就職することができた。

④ 就労準備プログラムの実施 一部達成

個々の就労支援を行ったが、体系だった就労準備のプログラムを定期的には実施するには至らなかった。

ミーティング ※就労継続支援B型・就労定着支援と共通

① メンバーミーティングの実施 達成

毎月実施し、レクリエーションや出店販売、事業所のルールなどについて話し合いを行った。

行事 ※就労継続支援B型・就労定着支援と共通

① レクリエーション等の実施

達成

7回実施した。お花見などの季節ごとの行事や、動物園などへの外出、所内でのたこ焼きパーティなど利用者さんのニーズを反映させながら実施した。

【就労定着支援】

定着支援

① 就労面の課題改善に努める

達成

職場での対人関係や作業の進め方による不安感などについて先方企業の担当者と連携しながら改善に努めた。

② 生活面の改題改善に努める

達成

生活リズムについての振り返りや、収入が少なかった月の食糧確保（フードバンクの利用）についてサポートを行った

【人員配置】

就労移行支援			
職員人数	職種	勤務形態	氏名
4 名	管理者	非常勤・兼務	
	サービス提供（管理）責任者	非常勤・兼務	
	生活支援員	常勤・専従	
	職業指導員	非常勤・専従	
	就労支援員	非常勤・専従	
就労継続支援 B 型			
職員人数	職種	勤務形態	氏名
6 名	管理者	非常勤・兼務	
	サービス提供（管理）責任者	非常勤・兼務	
	生活支援員	常勤・専従	
	職業指導員	非常勤・専従	
	職業指導員	非常勤・専従	
	工賃向上達成職員	非常勤・専従	
	工賃向上達成職員	非常勤・専従	
就労定着支援			
職員人数	職種	勤務形態	氏名
2 名	管理者	非常勤・兼務	
	サービス提供（管理）責任者	非常勤・兼務	
	就労定着支援	非常勤・専従	

【感染症対策及び衛生管理・防災対策】

感染症対策及び衛生管理・防災対策

① 感染症対策及び衛生管理

達成

法人全体研修で感染症予防について学習し、事業所の職員会議で実施に向けて検討し、換気や消毒、感染症シーズンごとの利用者への注意喚起を実施した。

③ 防災対策

達成

地域リハビリテーション推進センターの消防訓練に参加し、京都市のシェイクアウトを行い、利用者へ避難方法や消火器の場所の確認を行った。法人全体研修にて災害 BCP の学習に参加し、事業所の職員会議で検討を行った。

【中長期計画に向けた重点的取組み】

事業運営（利用したいと思える魅力的な事業所づくり）

① 工賃の向上

一部達成

平均工賃に関しては 15000 円を保つことができたが、全国平均には届かなかった。

② 生活支援

達成

個々の生活上での問題（自宅での体調不良、食糧不足、相続問題、受診拒否など）について介入し利用者と協力し改善に努めた。

③ 就労支援

達成

個々の就労準備段階やニーズに応じて職場見学や職場実習、必要な就業スキルの習得について個別性を重視してサポートを行った。

④ 所内の環境整備

達成

作業スペースの確保として追加デスクの導入や多目的室の使用により、できるだけ窮屈さを感じにくいように配慮を行うなど、利用者が活動しやすいように努めた。

職員の育成と定着

一部達成

月 1 回の職員会議と個別支援計画会議でケース検討を行い、チームでのアプローチを実施することで悩みを一人で抱え込まないようにした。

職員により研修などによる支援力向上の機会にばらつきが見られた。

地域交流・地域貢献

① バス停前のゴミ拾いなどの地域美化に協力する

未達成

移転後ゴミ拾いなどの地域美化に協力できていない

② 地域の防災訓練に参加する

達成

朱 7 学区の防災訓練に理事の協力を得て、参加した。

③ 地域のイベントに参加する

達成

中京区ふれあいネットワーク等の出店に参加した

◇令和6年度就労支援プログラム

2024年4月2日	私たちにとって働くとは？ 参加者—メンバー2名、
4月23日	情報化の進展と私たちの暮らし① 参加者—メンバー2名、学生実習生1名
4月30日	情報化の進展と私たちの暮らし② 参加者—メンバー3名、
5月7日	あいさつ 参加者—4名
5月14日	働くひとびと⑩—移動販売員、コミュニティナース 参加者—3名、学生実習生3名
5月21日	働くひとびと⑪—就労支援施設運営、飲食店手伝い 参加者—メンバー3名、学生実習生—2名
6月4日	あいさつ 参加者—メンバー2名、体験実習生1名、学生実習生2名
6月12日	社会人として自立するということ① 参加者—メンバー2名、学生実習生3名
6月25日	社会人として自立するということ② 参加者—1名
7月2日	質問する 参加者—メンバー4名、
7月16日	私らしく働くために① 参加者—メンバー1名、学生実習生—2名
7月23日	私らしく働くために② 参加者—メンバー2名
8月6日	報告する 参加者—メンバー1名
8月20日	障害者雇用促進法を活かす① 参加者2名
8月28日	障害者雇用促進法を活かす② 参加者—メンバー1名
9月3日	障害者雇用促進法を活かす② 参加者1名、学生実習生1名
9月10日	お願いする 参加者—1名

9月11日	障害者雇用促進法を活かす③ 参加者1名、学生実習生1名
9月24日	障害者雇用促進法を活かす② 参加者—メンバー1名、学生実習生1名
9月25日	企業面接に備える①—思いを伝える 参加者1名
10月8日	障害者雇用促進法を活かす③ 参加者—メンバー1名、学生実習生2名
10月22日	働くひとのための法律入門①—社会保険の基本を学ぶ① 健康保険、年金保険 参加者—メンバー1名、学生実習生1名
11月12日	働くひとのための法律入門②—雇用保険、労災保険 参加者2名、学生実習生2名
11月21日	断る 参加者3名、学生実習生4名
11月26日	働くひとのための法律入門③—労働基準法の基本を確認しよう 参加者2名、学生実習生1名
12月3日	仕事で失敗や間違いをしてしまったとき 参加者3名、
12月10日	私らしく休む①—認知行動療法を活かす① 参加者1名、学生実習生3名
12月17日	私らしく休む②—こころとからだをいたわるために 参加者2名
2025年1月14日	仕事で注意や批判されたとき 参加者3名
2025年1月21日	合理的配慮について①建設的対話 参加者2名、学生実習生3名
2025年1月28日	合理的配慮について②個人的自立から社会的自立へ 参加者2名、学生実習生1名
2025年2月4日	相談する
2025年2月18日	合理的配慮について—まとめ 参加者2名、学生実習生3名
2025年2月25日	職場でのコミュニケーション①身につけたい職場での伝え方 参加者2名、学生実習生2名
2025年3月4日	職場でのコミュニケーション② ①の実践編 参加者2名

2025 年 3 月 11 日	企業面接に備える①-面接準備シートをつくる 参加者 2 名
2025 年 3 月 18 日	褒める

個別プログラム

B 型	6 月 17 日、9 月 30 日、10 月 28 日、2025 年 2 月 10 日
-----	---

移行	
2024 年 10 月 9 日	企業面接に備える②-面接準備シートつくる
2024 年 10 月 23 日	働くひとのための法律入門①-社会保険の基本を学ぶ① 健康保険、年金保険
2024 年 11 月 27 日	働くひとのための法律入門③-労働基準法の基本を確認しよう
2024 年 12 月 11 日	私らしく休む①-認知行動療法を活かす①
2024 年 12 月 18 日	私らしく休む②-こころとからだをいたわるために

外部セミナー(職員同行)

2024/9/18	就労準備セミナー 印象の良い話し方講座 主催：京都障害者就業・生活支援センター 会場：北山ふれあいセンター研修室	就労移行 1 名
2024/9/26	障害者合同企業説明会 主催：京都労働局・ハローワーク 会場：京都国際会館	就労移行 2 名
2025/2/13	京都障害者合同企業説明会 主催：京都労働局・ハローワーク 会場：京都国際会館	就労移行 2 名
2025/2/27	大阪障害者就職面接会 主催：大阪労働局・ハローワーク 会場：マイドームおおさか	就労移行 1 名

令和6年度SFAプログラムまとめ

10月以降は午前、午後2グループ、もしくは個別で実施。

リーダーも3名交代で担当。

日時	内容	参加者
4/4 (木)	PM 食生活Ⅱ「食生活のポイント」	就労移行2名、就労継続B型1名
4/18 (木)	PM 食生活Ⅲ「コレステロール・中性脂肪」	就労移行3名、就労継続B型3名
5/2 (木)	PM 運動Ⅰ「運動についての知識」	就労移行1名、就労継続3名、法人他事業所職員1名
5/9 (木)	PM 運動Ⅱ「手軽に始められる運動」	就労移行2名、就労継続4名、実習生2名
5/23 (木)	PM 運動Ⅲ「運動習慣をつけるには」	就労移行1名、就労継続B型3名、実習生3名
6/6 (木)	PM 安全危機管理Ⅰ「今までに危険だと感じたこと」	就労移行3名、就労継続B3名
7/4 (木)	PM 安全危機管理Ⅱ「災害に備えて」	就労移行1名、就労継続3名
7/18 (木)	PM 安全危機管理Ⅲ「スマホやSNSの安全管理」	就労移行2名、就労継続B型2名、
8/22 (木)	PM 夏の健康管理Ⅰ「夏バテ防止」	就労継続B型2名、実習生3名
9/5 (木)	PM 夏の健康管理Ⅱ「夏バテ防止対策(食事編)」	就労移行1名、就労継続B型2名
10/17 (木)	AM 生活リズムⅠ「生活リズムとは」	就労継続B型2名
	PM 生活リズムⅠ「生活リズムとは」	就労移行2名、就労継続支援B型2名
10/24 (木)	AM 生活リズムⅠとⅡ「生活リズムと1週間の過ごし方」	就労移行2名
	PM 生活リズムⅡ「1週間の過ごし方」	就労移行1名、就労継続支援B型5名、実習生1名
11/7 (木)	AM 生活リズムⅢ「生活リズムの乱れを整える工夫」	就労移行2名
	PM 生活リズムⅢ「生活リズムの乱れを整える工夫」	就労移行1名、就労継続支援B型2名
11/13 (水)	PM 生活リズムⅠとⅡ「生活リズムと1週間の過ごし方」	就労移行1名
11/14 (木)	PM 生活リズムⅢ「生活リズムの乱れを整える工夫」	就労移行1名
11/20 (水)	AM 生活リズムⅢ「生活リズムの乱れを整える工夫」	就労継続支援B型1名
	PM 生活リズムⅡ・Ⅲ「1週間の過ごし方・生活リズムの乱れを整える工夫」	就労継続支援B型1名

11/21 (木)	AM	大掃除Ⅰ「なぜ、大掃除をするのか」	就労移行1名、実習生2名
	PM		就労移行1名、就労継続支援B型3名 実習生2名
12/5 (木)	AM	大掃除Ⅱ「大掃除のポイント」	就労移行1名、就労継続支援B型1名
	PM		就労移行1名、就労継続支援B型2名
12/18 (水)	AM	大掃除Ⅰ・Ⅱ	就労移行1名、就労継続支援B型2名
12/19 (木)	PM	大掃除Ⅲ「大掃除の疲れと予防法」	就労移行1名、就労継続支援B型3名
12/25 (水)	AM	大掃除Ⅲ「大掃除の疲れと予防法」	就労移行1名、就労継続支援B型1名
1/16 (木)	AM	金銭管理Ⅰ「金銭管理の大切さを 知る」	就労継続支援B型2名
	PM		就労移行1名、就労継続支援B型3名
1/23 (木)	AM	金銭管理Ⅱ「1ヶ月生活するのにい くらかかる？」	就労移行1名、就労継続支援B型1名 実習生1名
	PM		就労移行1名、就労継続支援B型3名 実習生3名
2/5 (水)	PM	金銭管理Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	就労移行1名
2/6 (木)	AM	金銭管理Ⅰ・Ⅱ	就労移行1名
2/13 (木)	AM	金銭管理Ⅲ「お金を計画的に使 充実した生活を送る」	就労移行1名、実習生2名
	AM		就労移行1名
	PM		就労継続支援4名、実習生2名
2/19(水)	PM	感染症について	就労継続支援 9 名
2/20 (木)	AM	金銭管理Ⅲ	就労移行 1 名
	PM	感染症Ⅰ「感染症とは何か」	就労移行 1 名、就労継続支援B型 3 名
3/6 (木)	AM	感染症Ⅰ「感染症とは何か」	就労移行 1 名
3/13 (木)	AM	感染症Ⅱ「感染症予防」	就労継続支援3名
	PM		就労移行1名、就労継続支援B型3名

令和6年度年間通所状況 京都市朱雀工房

	就労移行支援												就労継続支援B型
開所日数	242												242
延べ通所利用者数	912												3128
一日平均利用人員	3.8												12.9

(単位:人)

令和6年度 月別利用者数(延べ人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
就労継続支援B型	255	258	227	247	229	220	272	256	277	278	279	330	3128
就労移行支援	96	96	92	92	66	72	86	82	63	56	52	59	912
総計	351	354	319	339	295	292	358	338	340	334	331	389	4040

(単位:%)

令和6年度通所率

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
就労継続支援B型	12.1	12.3	11.4	11.8	10.9	11.6	12.4	12.8	13.9	14.6	15.5	16.5	12.9833
就労移行支援	4.6	4.6	4.6	4.4	3.1	3.8	3.9	4.1	3.2	2.9	2.9	3	3.75833
平均通所率	8.35	8.45	8	8.1	7	7.7	8.15	8.45	8.55	8.75	9.2	9.75	8.37083

令和6年度 工賃

(単位:円)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間平均
就労継続B型(総額)	194,073	194,832	202,905	155,500	244,773	176,953	213,836	204,734	187,103	224,276	170,499	237,873	200,613
平均工賃	10,781.83	10,824.00	11,272.50	9,147.06	13,598.50	9,313.32	11,254.53	10,236.70	9,355.15	11,213.80	8,524.95	10,342.30	10,489
就労移行支援(総額)	62,144	52,533	69,597	54,350	67,464	52,984	66,653	62,281	45,950	35,671	25,647	46,234	53,457
平均工賃	8,877.71	7,504.71	11,599.50	6,793.75	11,244.00	8,827.33	11,108.83	10,380.17	11,487.50	8,917.75	6,411.75	9,246.80	9,367

※2月、8月に別途ボーナスとして3,000円、5,000円、10,000円を本人評価、職員評価により総合的に評価して支給。

2. サービスについて

(1) 支援計画にそった支援がなされていますか。	なされている	なされていない	どちらでもない
	23	1	3
(2) 個人情報保護を慎重に取り扱っていますか。	なされている	なされていない	どちらでもない
	23	2	2
(3) 事業所の環境に満足していますか。	なされている	なされていない	どちらでもない
	22	2	3
(4) 作業内容に満足していますか。	満足	不満足	どちらでもない
	17	2	8
(5) 作業工賃に満足していますか。	満足	不満足	どちらでもない
	14	6	7
(6) レクリエーションには満足していますか。	満足	不満足	どちらでもない
	16	1	7
(7) 利用日数や作業時間に満足していますか。	満足	不満足	どちらでもない
	25	1	1

3. その他 自由にご意見をお書きください。

・どうともいえない。改めて僕を飼い殺そうとしている。何人見送ってきたか。面倒そうな空気を前に押し出されるとこちらも嫌になる。すぐに「これはいけない」だとか「こうしろ、ああしろ」を早く言える人がいない。人間的に今が1番最悪とも言える。

・レクリエーションは春は同じところが多いので別の場所にも行ってみたい(テーマパーク)です。

・自分の成長になる訓練が出来て大変満足しています。

・これからよろしく願います。

・とても良い環境で働かせていただいております。生活リズムも整ってきて助かっております。

・最近、慣れてきて作業が面白くなってきた。

・10年目に入るので改めてがんばりたい。

アンケートからの考察

職員対応について少数意見ながらそうであったり、怖いと感じたとある。職員も常日頃から言動に注意し客観的に言動を振り返り職員間でも話し合い、接し方や関わり方を改善していく。

作業内容についてはどちらでもないが一定数いる。これは年末にかけて仕事があまりない時期に単調な仕事が増えたことが原因と考える。

現在、新規の企業との話し合いで新しい仕事が増えるので作業項目も増えるので期待したい。

工賃に関しても年明けから仕事量減と利用者増が影響があったと考えられる。

今後も工賃を上げて行く努力は行っていく。

作業内容・工賃については利用者の意見も取り入れながら作業内容の検討を行いながら工賃向上にも努めたい。

レクレーションに関しても定期的に行ってる。利用者の意見などミーティング等で聞いて行っている。利用者が楽しいと思えるレクレーションの実施を行っていききたい。

令和 6 年度 京都市朱雀工房 非常災害時及び防災訓練実施報告書

■地域リハビリレーション推進センター企画による消防訓練

実施日時：令和 7 年 2 月 6 日

訓練の内容：平日 14 時に 2 階診察室 1 のコンセントから出火想定。

相談課の職員が消火活動を行う。

障害者支援施設 5 階・4 階の利用者を避難させる。

その他の COCO テラスの利用者についても各自避難する。

実際のベランダからの避難経路は職員のみで実施。どのように避難するか確認する。

■京都市シェイクアウト訓練（一斉防災訓練）

実施日時：令和 7 年 3 月 11 日

訓練内容：利用者には訓練の予告を行った状態。緊急速報後、職員・利用者

全員机の下に隠れる。終了後、資料を元に説明を行う。

実際、災害にあった時の説明を避難方法・避難系をなど職員、利用者と一緒に
行う。

また、消化器の場所や方法も説明を行う。

■苦情対応

苦情は寄せられなかった。

■事故

事故はなかった。

令和6年度 実習・見学受け入れ

精神保健福祉士実習

単位：人

龍谷大学	1
佛教大学	1
日本福祉大学	1
京都医専専門学校	2
京都医療福祉専門学校	1
合計	6

看護実習

単位：人

京都府立医科大学	30
第一赤十字	39
第二赤十字	6
京都保健大学校	7
合計	82

その他

単位：人

京都大学	1
合計	1

見学

単位：人

京都ノートルダム女子大学	4
--------------	---

決 算 報 告 書

令和6年度

自：令和6年4月1日

至：令和7年3月31日

京都市指定管理事業所

就労移行・就労継続支援B型事業所

京都市朱雀工房

社会福祉法人 京都光彩の会

(社会福祉法人 新会計基準に拠る会計処理)

法人名	社会福祉法人京都光彩の会
施設名	京都市朱雀工房
サービス区分	京都市朱雀工房

【朱雀工房】 資金収支計算書

(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)

(単位:円)

	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
事業活動による収支	収入				
	就労支援事業収入	5,000,000	5,016,840	△16,840	
	就労支援事業収入	5,000,000	5,016,840	△16,840	
	障害福祉サービス等事業収入	40,870,000	41,385,175	△515,175	
	自立支援給付費収入	40,700,000	41,211,674	△511,674	
	訓練等給付費収入	40,700,000	41,211,674	△511,674	
	その他の事業収入	170,000	173,501	△3,501	
	補助金事業収入	170,000	173,501	△3,501	
	その他の収入	500,000	522,440	△22,440	
	受入研修費収入	500,000	522,440	△22,440	
	事業活動収入計(1)	46,370,000	46,924,455	△554,455	
	支出				
	人件費支出	34,950,000	34,385,001	564,999	
	職員給料支出	19,800,000	19,418,292	381,708	
	職員賞与支出	4,000,000	3,955,597	44,403	
	職員諸手当支出	2,900,000	2,614,864	285,136	
	非常勤職員給与支出	1,800,000	2,031,405	△231,405	
	退職給付支出	1,250,000	1,301,117	△51,117	
	法定福利費支出	5,200,000	5,063,726	136,274	
	事業費支出	1,040,000	1,095,815	△55,815	
	教養娯楽費支出	70,000	68,113	1,887	
	日用品費支出	100,000	122,437	△22,437	
	水道光熱費支出	450,000	291,590	158,410	
	消耗器具備品費支出	200,000	339,638	△139,638	
	教育指導費支出	20,000		20,000	
	車輛関係費支出	200,000	274,037	△74,037	
	事務費支出	5,620,000	6,202,130	△582,130	
	福利厚生費支出	300,000	332,338	△32,338	
	旅費交通費支出	200,000	136,446	63,554	
	研修研究費支出	50,000	49,460	540	
	事務消耗品費支出	400,000	538,272	△138,272	
	印刷製本費支出	850,000	774,736	75,264	
	修繕費支出		10,600	△10,600	
	通信運搬費支出	780,000	798,675	△18,675	
	業務委託費支出	1,000,000	1,087,168	△87,168	
	手数料支出	730,000	866,900	△136,900	
	保険料支出	230,000	337,880	△107,880	
	賃借料支出	950,000	1,140,840	△190,840	
	租税公課支出	30,000	6,900	23,100	
	諸会費支出	100,000	94,500	5,500	
	雑支出		27,415	△27,415	
	就労支援事業支出	5,000,000	4,971,798	28,202	
	就労支援事業販売原価支出	5,000,000	4,971,798	28,202	
	就労支援事業製造原価支出	5,000,000	3,793,069	1,206,931	
	就労支援事業仕入支出		1,178,729	△1,178,729	
	事業活動支出計(2)	46,610,000	46,654,744	△44,744	

【朱雀工房】資金収支計算書

(自 令和 6 年 4 月 1 日 至 令和 7 年 3 月 31 日)

(単位:円)

	勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)	△240,000	269,711	△509,711	
施設整備等による収支	収入				
	施設整備等収入計(4)				
	支出				
	施設整備等支出計(5)				
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)				
その他の活動による収支	収入				
	その他の活動収入計(7)				
	支出				
	その他の活動支出計(8)				
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)				
	予備費支出(10)				
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	△240,000	269,711	△509,711	
	前期末支払資金残高(12)		1,771,563	△1,771,563	
	当期末支払資金残高(11)+(12)	△240,000	2,041,274	△2,281,274	

法人名	社会福祉法人京都光彩の会
施設名	京都市朱雀工房
サービス区分	京都市朱雀工房

【朱雀工房】事業活動計算書

(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)

(単位:円)

	勘定科目	当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	前年比率	備考
サービス活動増減の部	収 就労支援事業収益	5,016,840	5,367,171	△350,331	93.47%	
	益 就労支援事業収益	5,016,840	5,367,171	△350,331	93.47%	
	障害福祉サービス等事業収益	41,385,175	39,905,085	1,480,090	103.71%	
	自立支援給付費収益	41,211,674	39,905,085	1,306,589	103.27%	
	訓練等給付費収益	41,211,674	39,905,085	1,306,589	103.27%	
	その他の事業収益	173,501		173,501		
	補助金事業収益	173,501		173,501		
	その他の事業収益		60,272	△60,272	0.00%	
	その他の事業収益		60,272	△60,272	0.00%	
	補助金事業収益		60,272	△60,272	0.00%	
	経常経費寄附金収益		2,060,000	△2,060,000	0.00%	
	サービス活動収益計(1)	46,402,015	47,392,528	△990,513	97.91%	
	費 人件費	34,385,001	37,237,332	△2,852,331	92.34%	
	用 職員給料	19,418,292	19,917,554	△499,262	97.49%	
	職員賞与	2,955,597	3,486,750	△531,153	84.77%	
	賞与引当金繰入	1,000,000	1,000,000		100.00%	
	職員諸手当	2,614,864	3,866,634	△1,251,770	67.63%	
	非常勤職員給与	2,031,405	2,588,956	△557,551	78.46%	
	退職給付費用	1,301,117	1,262,076	39,041	103.09%	
	法定福利費	5,063,726	5,115,362	△51,636	98.99%	
	事業費	1,095,815	2,438,240	△1,342,425	44.94%	
	保健衛生費		18,296	△18,296	0.00%	
	教養娯楽費	68,113	115,179	△47,066	59.14%	
	日用品費	122,437	122,351	86	100.07%	
	水道光熱費	291,590	757,079	△465,489	38.52%	
	消耗器具備品費	339,638	1,256,027	△916,389	27.04%	
	教育指導費		26,000	△26,000	0.00%	
	車輛関係費	274,037	143,308	130,729	191.22%	
	事務費	6,202,130	4,678,087	1,524,043	132.58%	
	福利厚生費	332,338	289,853	42,485	114.66%	
	旅費交通費	136,446	202,110	△65,664	67.51%	
	研修研究費	49,460	30,070	19,390	164.48%	
	事務消耗品費	538,272	258,895	279,377	207.91%	
	印刷製本費	774,736	558,660	216,076	138.68%	
	修繕費	10,600	11,845	△1,245	89.49%	
	通信運搬費	798,675	705,274	93,401	113.24%	
	広報費		106,500	△106,500	0.00%	
	業務委託費	1,087,168	943,603	143,565	115.21%	
	手数料	866,900	405,284	461,616	213.90%	
	保険料	337,880	209,781	128,099	161.06%	
	賃借料	1,140,840	800,334	340,506	142.55%	
	租税公課	6,900	24,550	△17,650	28.11%	
	諸会費	94,500	128,708	△34,208	73.42%	
	雑費	27,415	2,620	24,795	1046.37%	

【朱雀工房】 事業活動計算書

(自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日)

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)	前年比率	備考
	就労支援事業費用	4,938,648	5,328,589	△389,941	92.68%	
	就労支援事業販売原価	4,938,648	5,328,589	△389,941	92.68%	
	当期就労支援事業製造原価	4,938,648	5,328,589	△389,941	92.68%	
	減価償却費	34,756	8,689	26,067	400.00%	
	サービス活動費用計(2)	46,656,350	49,690,937	△3,034,587	93.89%	
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	△254,335	△2,298,409	2,044,074	11.07%	
サービス活動外増減の部	その他のサービス活動外収益	522,440	1,222,037	△699,597	42.75%	
	受入研修費収益	522,440	545,000	△22,560	95.86%	
	雑収益		677,037	△677,037	0.00%	
	サービス活動外収益計(4)	522,440	1,222,037	△699,597	42.75%	
	費用					
	サービス活動外費用計(5)					
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	522,440	1,222,037	△699,597	42.75%	
経常増減差額(7)=(3)+(6)		268,105	△1,076,372	1,344,477	△24.91%	
特別増減の部	特別収益					
	特別収益計(8)					
	費用					
	特別費用計(9)					
特別増減差額(10)=(8)-(9)						
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)		268,105	△1,076,372	1,344,477	△24.91%	
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)	△1,348,965	△272,593	△1,076,372	494.86%	
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	△1,080,860	△1,348,965	268,105	80.13%	
	基本金取崩額(14)					
	その他の積立金取崩額(15)					
	その他の積立金取崩額					
	工賃変動積立金取崩額					
	長期預り金積立資産取崩額					
	その他の積立金積立額(16)					
	その他の積立金積立額					
	施設整備等積立額					
	工賃変動積立金積立額					
次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)		△1,080,860	△1,348,965	268,105	80.13%	

法人名	社会福祉法人京都光彩の会
施設名	京都市朱雀工房
サ-ビス区分	京都市朱雀工房

【朱雀工房】貸借対照表

(令和7年3月31日現在)

(単位:円)

資産の部				負債の部			
勘定科目	当年度末	前年度末	増減	勘定科目	当年度末	前年度末	増減
流動資産				流動負債	7,922,324	9,862,425	△1,940,101
現金預金	9,045,648	10,682,888	△1,637,240	事業未払金	12,229	79,513	△67,284
事業未収金	428,112	3,255,732	△2,827,620	預り金	221,590	538,008	△316,418
商品・製品	8,535,486	7,378,256	1,157,230	サ-ビス区分間借入金	6,688,505	8,244,904	△1,556,399
	82,050	48,900	33,150	賞与引当金	1,000,000	1,000,000	
固定資産				負債の部合計	7,922,324	9,862,425	△1,940,101
基本財産	1,195,816	1,230,572	△34,756	純資産の部			
定期預金	1,000,000	1,000,000		基本金	3,400,000	3,400,000	
その他の固定資産	195,816	230,572	△34,756	第一号基本金	3,400,000	3,400,000	
機械及び装置	6	6		次期繰越活動増減差額	△1,080,860	△1,348,965	268,105
器具及び備品	195,810	230,566	△34,756	(うち当期活動増減差額)	268,105	△1,076,372	1,344,477
				純資産の部合計	2,319,140	2,051,035	268,105
資産の部合計	10,241,464	11,913,460	△1,671,996	負債及び純資産の部合計	10,241,464	11,913,460	△1,671,996